

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	浄化センター所長 永田 直樹	
都整－50 雨水施設維持管理事業		■ 自治事務	主管課	浄化センター
		□ 法定受託事務	関連課	下水道河川課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	水辺環境の整備・創出・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。
効果	雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・雨水調整池(玉縄・台・腰越・笹田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。

2 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	13,417	当初予算(千円)	18,620	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	691	その他		
	一般財源	12,726	一般財源	18,620	
	人員配置数	0.9	人員配置数	1.0	
	人件費(千円)	6,777	人件費(千円)	7,638	
事業経費運営	総事業費(千円)	20,194	総事業費(千円)	26,258	
	市民1人当りの経費(円)	114	市民1人当りの経費(円)	148	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

3 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
		△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		長寿命化計画に基づき、予防保全型管理への転換を図り、定期的な維持管理を行っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	都市型災害や台風等の際に雨水調整池(自然流下式・ポンプ排除方式)が正常に稼働するよう、コスト意識を持ちつつ、適切な施設改修及び維持管理を行う。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	機器類の延命化にも限界があり、既に更新や取替が必要な時期にある。また、機器本来の性能を十分に発揮することが困難になりつつあることから、近年見られるような都市型水害や大雨等による被害を阻止できなくなる恐れがある。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	老朽化した機器が良好に作動し続けるよう、突発的な故障の予防に努めた。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	更新や取替を実施できるまでの間、老朽化した機器類が正常に動作し続けられるよう、万全な維持管理を継続する。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---